

(案)

# **Japan Rowing Strategic Plan 2033**

---

JARA企画・戦略委員会

オアズパーソンシップとは？

# ローイングファミリー

- ローイングを「する」「みる」「ささえる」人々の総称。
- 年齢、性別、国籍、競技レベル、バックグラウンド等の様々な垣根を取り払い、ローイングに関わる全ての人々が家族のように大切な存在であるという意味を持つ。

# ローイングカルチャー

- ローイングファミリーが集い、活動することで生まれる文化。
- ローイングを通じて育まれる豊かな経験や知性、感性、人とのつながり、生きがいなど。

ローイングの  
カテゴリー

Rowing

Para - Rowing

Coastal Rowing

Indoor Rowing

Virtual Rowing

# 目指すゴール



全てのローイングファミリーがあらゆるライフステージで、楽しく安全にローイングができる環境の整備



ローイングにおける「する」「みる」「ささえる」  
参画人口の拡大



2032年ブリスベン大会でメダルを獲得する



2033年に海の森水上競技場で世界選手権を開催する

# プラン2033の方向性

## する、みる、ささえる人材の育成

共通言語によるカルチャーの醸成  
地域における情報格差の解消

## 普及活動と組織基盤の確立

ローイングの新しい楽しみ方を提案  
次の100年を支える組織とは

## ローイング環境の整備

経験と勘と思い込みから  
エビデンスベースドへ

## 強化戦略「選択と集中」

最速のクルー作り  
持続可能な強化体制の構築

# する、みる、 ささえる人材 の育成

## ★ローイングファミリーのためのハンドブック作成・配布

対象：競技者、指導者、審判、競技団体役員、ボランティア、ファン 等

(例)

- ・ローイングとは（競技の説明、歴史、用語の説明）
- ・ローイングの基本（競技規則、競技用具、技術、トレーニング）
- ・安全にローイングを行うために、環境保全
- ・競技団体の役割（ガバナンス、財政、登録者数）
- ・スポーツ基本法、オリンピック・パラリンピック



## ★ナショナルコーチの育成・地域交流の推進

- 次世代を担うナショナルコーチを育成するとともに、全国の水域へ派遣し、地域のアスリートへの指導機会を創出
- 全国の指導者とナショナルコーチの交流機会を設け、知識や情報を共有

# ローイング 環境の整備

## ★安心安全のための情報プラットフォーム構築

ローイングを安全に行うための知識と情報を一元化した情報サイトを作成するとともに、アスリートが直面する様々な課題について、直接情報を届ける仕組みや相談窓口等を検討

- 安全マニュアル・ガイドラインの掲載
- 安全講習（動画）
- 過去のインシデントの分析・報告
- アンチドーピングに関すること
- アスリートの傷害・障害予防
- アスリートのメンタルヘルスに関すること
- 女性アスリートのためのメディカル情報
- 相談窓口・ハラスメント通報窓口

## ★地域ローイングクラブの活性化に向けた調査

- 国が進める中学部活動改革の動きを踏まえ、生徒の受け皿となる地域のローイングクラブ創設を支援
- ローイングファミリーの活動母体となる地域のローイングクラブの活性化に向けて、都道府県競技団体と連携し、実態把握やニーズ調査を実施



# 普及活動と組織基盤の確立

## ★インドアローイングの普及

バーチャルインドアローイングの盛り上がりの後押しするため、インドアローイングを活用した普及活動を推進

- ✓ バーチャルインドアローイング大会の継続
- ✓ 国民スポーツ大会文化プログラムへの参画
- ✓ フィットネスジムへの導入促進
- ✓ 他競技へのプロモーション・指導



## ★組織を支える人的資本への投資

- 国際大会の運営ノウハウの獲得・蓄積
- 若い世代が多様なテーマ・課題にチャレンジできる機会を提供
- 競技者登録システムの拡大（ボランティア、観客、VRインドアローイング）
- ローイング功労者への表彰の在り方を検討

# 強化戦略 選択と集中

## ★アスリート育成パスウェイの構築

軽量級種目の廃止、レース距離の変更（2028年1500m ➡ 2032年2000m）によるアスリートの能力開発や目指すパフォーマンスの見直しが必要

発掘プログラム

トレーニング方法

選考基準・派遣基準

## ★戦略的な種目選定

オリンピック or パラリンピック？ | スカル種目 or スウィープ種目？  
クラシック or コースタル？ | 女子 or 男子？

## ★強化体制

- JARAの強化方針に即したチーム編成・人材確保に向けた要件整理
- 次代を担う人材育成の視点
- 海外拠点の検討（クィーンズランド大学\*との連携？）

\* オーストラリア・ブリスベンの中心部に位置する総合大学

# ロードマップ

---

2026  
アジア大会

海外拠点設置  
招致活動開始

2028  
LA大会

オリ・パラ  
ファイナル進出

2030

世界選手権  
メダル獲得

2032  
ブリスベン大会

オリ・パラ  
メダル獲得

2033

海の森水上競技場  
世界選手権開催

# 今後の検討課題

- 財源の確保
- プラン実行のための専門人材が必要
- 進捗確認、フォローアップ、効果検証、事後評価

本Strategic Plan 2033は、現時点で企画・戦略委員会からの提案であり、  
施行の場合には日本ローイング協会として正式に発表いたします。